

三重県立文化施設インフォメーション



三重県総合博物館 (MieMu)

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田3060
TEL: 059-228-2283(代表)

開館時間
交流創造エリア
[休館日を除く全日] 午前9時～午後7時
展示エリア
[平日] 午前9時～午後5時
[土、日、祝] 午前9時～午後7時
※最終入場は閉場時間の30分前まで

休館日
毎週月曜日(祝日・休日の場合は直後の平日)
年末年始(12月29日～1月3日)
別途定める日

三重県立美術館

〒514-0007 三重県津市大谷町11番地
TEL: 059-227-2100(代表)

開館時間
午前9時30分～午後5時
(最終入館は午後4時30分)
休館日
毎週月曜日(祝日・休日の場合は直後の平日)
年末年始(12月29日～1月3日)
別途定める日

※駐車場の収容台数は約130台ですが、
展覧会によっては混雑のため駐車できない場合もありますので、可能な限り公共交通機関をご利用ください。

三重県総合文化センター

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234
TEL: 059-233-1111(代表)

開館時間
午前9時～午後7時
チケットカウンター、アートショップMikke(みっけ)、RIZ CAFE
午前10時～午後7時
売店、カフェコーナー
午前8時50分～午後6時30分
カフェ・レストランCotti菜(こっちな)
午前9時～午後5時

休館日
毎週月曜日(祝日・休日の場合は直後の平日)
年末年始(12月29日～1月3日)



斎宮歴史博物館

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503 TEL: 0596-52-3800(代表)

開館時間 午前9時30分～午後5時(最終入館は午後4時30分)

休館日 毎週月曜日(祝日・休日の場合は直後の平日)
年末年始(12月29日～1月3日)

三重県立図書館

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234
(三重県総合文化センター生涯学習棟1階)
TEL: 059-233-1180(代表)

開館時間
午前9時～午後7時
休館日
毎週月曜日(祝日・休日の場合は直後の平日)
毎月末日(土・日・祝日の場合は直前の平日)
年末年始(12月29日～1月4日)
特別整理期間(2月21日～2月27日)

【図書館の主なイベント等】
おはなし会(第1～4土曜日、偶数月第4水曜日)
図書館児童コーナーのなかにあるおはなしコーナーでは、おはなし会を行っています。おもしろい絵本やおはなしと出会えます。(申込不要)
※開催日は図書館ホームページにてご確認ください。

図書館探検隊(年間2～3回程度開催)
書庫をはじめ、図書館のバックヤードをご覧いただける館内ガイドツアーです。職員やボランティアがご案内するとともに、図書館の便利なサービスなどをご紹介します。地下の書庫をご覧いただける数少ない機会です！(事前申込制)

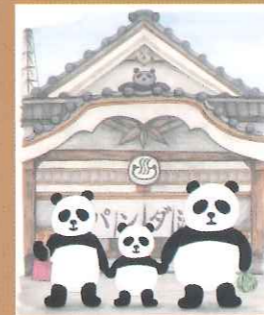
このほか、セミナーや「英語多読交流会」、「図書館のおしごと体験!一日館長」などを開催します。開催日等について随時図書館ホームページでお知らせします。そのほか、2階文学コーナーでは常設展「三重の文学を見渡す」を開催しています。

2019年11月21日(木)・22日(金)
三重県で初めて全国図書館大会を開催します!

2018

三重県立文化施設

イベントカレンダー



三重県立美術館
「パンダ銭湯」
(2013年 ©tuperatupera/絵本館)



三重県総合博物館
松浦武四郎肖像
(松浦武四郎記念館蔵)



斎宮歴史博物館
源氏物語須磨巻絵巻
(斎宮歴史博物館蔵)



三重県総合文化センター
ロシア国立サンクトペテルブルク・アカデミー・バレエ
「くるみ割り人形」

三重県総合博物館 みえむ (MieMu)

MieMuのシンボル、ミエゾウの大きな全身骨格復元標本の展示は大迫力。基本展示室では、三重の自然と歴史・文化を総合的に学べます。その他年間を通じてワークショップやフィールドワークなど、様々なイベントを行っています。すべての展示を何度も観覧できる年間パスポートがおすすめ!

4/14 第19回企画展 **知ってる貝! 見てみる貝! 貝のヒミツ**
4月14日(土)~6月17日(日)



世界最大級の巻貝 アラフラオオニシ

7/7 第20回企画展 **おもちゃ大好き!**
~郷土玩具とおもちゃの歴史~
7月7日(土)~9月2日(日)



小学少年双六と伊勢玩具

9/15 第21回企画展 **幕末維新を生き抜いた旅の巨人 松浦武四郎**
9月15日(土)~11月11日(日)



武四郎と案内する樺太アイヌほか『北蝦夷余誌』より(松浦武四郎記念館蔵)

12/15 第22回企画展 **くらしの道具~いま・むかし~ 特集“三重の伝統産業”**
12月15日(土)~2月17日(日)



お米にまつわる道具

三重県立美術館

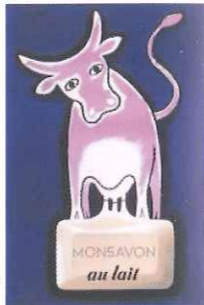
有名作品がなにげなく展示されている常設展もおすすめ。時期によって、17世紀のスペインの画家ムリーリョや、近代のモネ、ルノワール、シャガール、日本美術では浅井忠、黒田清輝、江戸期の画家、曾我蕭白などの名品がたくさん。常設展は4期に分けて展示作品を入れ替えています。

3/17 ぼくとわたしと みんなの **tupera tupera 絵本の世界展**
3月17日(土)~6月10日(日)



©tupera tupera

6/30 第23回企画展 **サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法**
6月30日(土)~9月2日(日)



《牛乳石鹸モンサヴォン》 ©Annie Charpentier 2018

9/2 日本画* **大研究**
9月11日(火)~10月14日(日)



伊藤小坡《ふたば》

10/14 10/27 川端康成と横光利一展
10月27日(土)~12月16日(日)



国宝・池大雅《十便図》

1/4 3/24 Para-Landscape “風景”をめぐる想像力の現在
1月4日(金)~3月24日(日)



藤原康博《あいだの山》 2014年 ©Yasuhiro Fujiwara courtesy of Mori Yu Gallery

斎宮歴史博物館

斎宮の歴史、伊勢神宮に仕えた未婚の皇女・斎王(さいおう)の役割や、当時の斎宮の様子などを資料や模型、映像を使って分かりやすく紹介しています。博物館の周辺には、十二単の試着などの平安文化が体験できる「いつきのみや歴史体験館」、平安時代の建物を復元した「さいくう平安の杜」、お土産や軽食を販売している「お休み処いつき茶屋」などもあり、散歩もおすすめ。

4/21 6/3 王朝人が愛でた動物たち ~あなたはイヌ派? ネコ派? それとも?~
4月21日(土)~6月3日(日)



春日権現霊験記 (京都市立芸術大学芸術資料館蔵)

7/14 9/2 明和町町制60周年連携 「斎宮のまわりにも魅力がいっぱい 斎宮で自由研究②」
7月14日(土)~9月2日(日)



青磁香炉 (安養寺跡出土 明和町教育委員会蔵)

10/6 11/11 イクメン!? ~平安貴族の子育てパパ宣言!!~
10月6日(土)~11月11日(日)



源氏物語須磨巻絵巻 (斎宮歴史博物館蔵)

三重県 総合文化センター

三重県総合文化センターは、文化会館、生涯学習センター、男女共同参画センター「フレンテみえ」、三重県立図書館で構成される文化施設です。公演や講座の他にも春にはこいのぼり、夏には七夕の笹飾り、秋には竹あかりによるライトアップなど季節ごとにお楽しみいただけるイベントを開催しています。お子様向けに施設内で自由に絵が描けるお絵描きキッド「絵かきのコぼっく」のレンタルを実施しています。

※2018年3月現在の予定です。やむをえない事情により変更になる場合があります。

4月30日(月・休) 中ホール 三重のまなび2018 狂言師・野村万作講演会 「人間国宝が語る86歳の狂言道」



狂言「栗焼」 太郎冠者・野村万作 撮影・政川慎治

7月7日(土) 中ホール みえアカデミックセミナー2018オープニング 「福澤諭吉の明治維新」



東京大学大学院教授 山本博文

8月5日(日) 知識の広場 他 M祭! 2018 キッズ・アート・フェスティバル



昨年のM祭の様子

7月21日(土) 大ホール 飯森範親指揮 日本センチュリー交響楽団 三重特別演奏会



指揮:飯森範親 ©山岸伸

9月7日(金) 中ホール 松竹大歌舞伎 片岡愛之助 昼夜2回公演



10月11日(木) 大ホール ブルガリア国立歌劇場 プッチーニ:歌劇 「トゥーランドット」



11月25日(日) 大ホール 宮川彬良指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団



指揮:宮川彬良 ©PACO

12月1日(土)・2日(日) 小ホール 青年団 第80回公演 「ソウル市民/ソウル市民1919」



©青木司

3月9日(土) 大ホール 上岡敏之指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団



指揮:上岡敏之 ©堀田力丸

12月24日(月・休) 大ホール ロシア国立サンクトペテルブルク・アカデミー・バレエ 「くるみ割り人形」



★…M祭!は、県内の文化施設も多数参加するイベントです。

上記は各施設のイベントの一部を抜粋しております。上記以外にも多数の関連講座・ワークショップ、公演等もございます。詳細・最新情報につきましては、各施設のホームページにてご確認ください。(または、各施設にお問い合わせください)

	企画展示室 (3F)	三重の実物図鑑 (3F)	講座	フィールドワーク
2018 4	<p>第19回企画展 知ってる貝！ 見てみる貝！ 貝のヒミツ 4月14日(土)～6月17日(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4/15(日) ギャラリートーク 22(日) 貝がらを使った工作体験 29(日・祝) ワークショップ「貝のカラダを推理しよう」 30(月・振) 貝がらを使った工作体験 5/3(木・祝) 県水産研究所出前講座 4(金・祝) 貝がらを使った工作体験 5(土・祝) 三重中・三重高による工作体験 6(日) 三重中・三重高による工作体験 12(土) 標本づくり講座「貝の玉手箱づくり」 13(日) ギャラリートーク 20(日) 講座「色鉛筆でネイチャーアート・貝」 27(日) ワークショップ「貝のカラダを推理しよう」 6/3(日) 貝がらを使った工作体験 9(土) 貝がらを使った工作体験 10(日) ワークショップ「貝のカラダを推理しよう」 	<p>三重の実物図鑑 (3F)</p> <p>明治初期の 三重のできごと 5月15日(火)～ 6月24日(日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 14(土) 基本展示スポットガイド 15(日) MieMuの日 // わくわくワークショップ 28(土) 館長と調べる三葉虫のひみつ 12(土) さんちゃんのお食事会 20(日) わくわくワークショップ「フィールドサインをさがしてみよう」 26(土) 学芸員フリートーク <p>岐阜県博物館交流企画</p> <ul style="list-style-type: none"> 3(日) 岐阜県博物館講演会 9(土) 基本展示スポットガイド 17(日) わくわくワークショップ「葉っぱのごすりだし図鑑」 7(土) 学芸員フリートーク 14(土) さんちゃんのお食事会 15(日) わくわくワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> 5/19(土) 貝を探してみよう 
5	 <p>世界最大級の巻貝アラフラオオニシ</p>	 <p>三重県下頭民衆動之事件</p>		
6	<p>第20回企画展 おもちゃ大好き！ ～郷土玩具とおもちゃの歴史～ 7月7日(土)～9月2日(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> 7/8(日) ギャラリートーク 14(土) 記念講演会 8/18(土) ギャラリートーク 		<ul style="list-style-type: none"> 11(土) 基本展示スポットガイド 19(日) 標本の名前を調べてみよう(平成30年度同定会) 25(土) 館長と調べる三葉虫のひみつ 26(日) わくわくワークショップ「オリジナル昆虫をつくろう」 	
7	 <p>小学少年双六と伊勢玩具</p>			
8	<p>第21回企画展 幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎 9月15日(土)～11月11日(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> 9/16(日) ミニレクチャー&ギャラリートーク 29(土) 三重県生涯学習センター×三重県総合博物館連携事業 研究報告 松浦武四郎研究最前線 ミニレクチャー&ギャラリートーク 30(日) ミニレクチャー&ギャラリートーク 10/14(日) ミニレクチャー&ギャラリートーク 28(日) 記念講演会 11/4(日) ミニレクチャー&ギャラリートーク 11(日) 幕末維新を三重から語る武四郎鼎談 	<p>三重の縄文時代 10月23日(火)～ 12月16日(日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 8(土) さんちゃんのお食事会 16(日) わくわくワークショップ 22(土) 学芸員フリートーク 13(土) 基本展示スポットガイド 20(土) おとなのためのコケ講座 21(日) わくわくワークショップ「どんぐり図鑑をつくろう」 10(土) さんちゃんのお食事会 18(日) わくわくワークショップ 24(土) 学芸員フリートーク 	<ul style="list-style-type: none"> 23(日) 潮さがしてみよう！磯の生物 10(土) 文化財探訪 
9	 <p>武四郎と案内する権太アイヌほか「北蝦夷余誌」より 松浦武四郎記念館蔵</p>			
10				
11				

第22回企画展

くらしの道具～いま・むかし～
特集“三重の伝統産業”

12月15日(土)～2月17日(日)

- 12/23(日・祝) ギャラリートーク
- 1/19(土) ギャラリートーク

- 2/2(土) ギャラリートーク



児童用机・膳掛け

縄文土器 新徳寺遺跡出土(多気町)
三重県埋蔵文化財センター蔵

2019年新春企画

三重の
イノシシたち12月18日(火)～
1月27日(日)

イノシシ



- 2(日) わくわくワークショップ
「まつぼっくりでX'mas
ツリーをつくろう」
- 8(土) 基本展示スポットガイド
- 16(日) 正月かざりをつくろう
- 22(土) 館長と調べる三葉虫のひみつ

- 12(土) さんちゃんのお食事会
- 20(日) わくわくワークショップ
- 26(土) 学芸員フリートーク

- 9(土) 基本展示スポットガイド
- 17(日) わくわくワークショップ

- 9(土) さんちゃんのお食事会
- 17(日) わくわくワークショップ
「伊勢型紙でポストカードをつくろう」
- 23(土) 学芸員フリートーク

- 2(日) 雲出川の石を調べよう
- 9(日) 身近な冬鳥を観察しよう



- 3(日) 尾鷲層群の化石をたずねて

移動展示

たんけん!はっけん!
紀北町2月23日(土)
・24日(日)場所: 紀北町東長島公民館
(北牟婁郡紀北町東長島915番地2)

- 10(日) 身近な冬鳥を観察しよう

※このほかにも、企画展関連イベント等を開催する予定です。また、企業や団体から協賛をいただき、基本展示観覧料が無料となり、各種イベントが盛りだくさんの「コーポレーション・デー」を開催します(不定期)。開催日時等、最新の情報は、当館ホームページやSNSでご案内します。

さまざまな活動のご案内

当…当日受付 申…事前申込

講座など

- **基本展示スポットガイド** 当(偶数月)
数ある展示コーナーの中から、学芸員のおすすめ展示を解説します。誰が、どこの解説をするかは来てみてのお楽しみ。
日程: 第2土曜日 14時から
- **さんちゃんのお食事会** 当(奇数月)
オオサンショウウオのさんちゃんがエサを食べるところを観察しよう。
日程: 第2土曜日 11時から
- **わくわくワークショップ** 当
第3日曜日を中心に、どなたでも参加できるワークショップを行います。
- **学芸員フリートーク** 当
学芸員が知っているあんなこと、こんなこと。いろいろなお話をします。
日程: 5/26, 7/7, 9/22, 11/24, 1/26, 3/23
13時30分から 定員: 80名 対象: 小学生以上
- **館長と調べる三葉虫のひみつ** 当
日程: 4/28, 8/25, 12/22
13時30分から 定員: 20名 対象: 小学生以上

- **標本の名前を調べてみよう** 当
(平成30年度同定会)
日程: 8/19 対象: 小学生以上

- **おとなのためのコケ講座** 申
日程: 10/20 定員: 10名 対象: 一般(初心者向け)

- **正月かざりをつくろう** 申
日程: 12/16 定員: 15名 対象: 小学生以上
(ただし小学3年生以下は保護者同伴の事)
※別途材料費必要。申し込みは別途要項をご覧ください。

フィールドワーク

- **さがしてみよう!磯の生物** 申(現地集合)
日程: 9/23 定員: 20名 対象: 小学生以上
 - **文化財探訪「松浦武四郎生家をたずねて」** 申(現地集合)
日程: 11/10 定員: 20名 対象: 一般
 - **雲出川の石を調べよう** 申(現地集合)
日程: 12/2 定員: 30名 対象: 小学生以上
 - **身近な冬鳥を観察しよう** 申(現地集合)
日程: 12/9, 3/10 定員: 30名 対象: 小学生以上
 - **尾鷲層群の化石をたずねて** 申(現地集合)
日程: 2/3 定員: 30名 対象: 小学生以上
- ※フィールドワークへの小学生の参加は保護者同伴

[定員・申込み方法について]

現地集合: 直接現地へお越しください。
当日受付: 開始時間までに所定の場所へお集まりください。定員に達し次第、締切りといたします。
事前申込: 開催日の2ヶ月前から3週間前(必着)の期間に往復はがきまたは電子申請でお申込みください。
※電子申請は、当館ホームページのイベント案内よりお申込みください。
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/84927046739.htm>
なお、右記のQRコードからもアクセスできます。



- 1つの行事につき1通の申込みが必要です。代表者の氏名、年齢、住所、当日連絡が取れる電話番号および参加者全員の氏名、年齢をご記入ください。
- 応募者多数の場合、抽選となります。なお、電子申請の場合、申込み後に届く到達確認メールは、当選の通知ではありませんのでご注意ください。
- 1件あたりのお申込み人数は4名までとし、これを抽選単位とします。
- 各イベントは、悪天候などにより中止することがあります。当日参加のイベント実施の可否についてはホームページをご覧ください。
- 申込みが定員に満たない場合、募集期間終了後、追加募集を行う場合があります。実施の場合はホームページでご案内します。またはMieMuへお問い合わせください。

[お問い合わせ] 三重県総合博物館(MieMu)
三重県津市一身田上津部田3060 〒514-0061
tel 059-228-2283 mail MieMu@pref.mie.jp
HP <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/>

【岐阜県博物館交流企画】 岐阜県博物館とMieMuとの連携企画として、岐阜県博物館の学芸員による講演会を実施します。

講演会 事前申込 定員: 80名

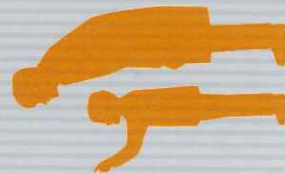
6/3(日) 13:30～

「世界最大の二枚貝～シカマイアとは何～」

担当: 松本正樹(岐阜県博物館 地学担当職員)

※MieMuからも学芸員が岐阜県博物館に出かけて講演会を行います。参加方法は岐阜県博物館にお問い合わせください。

講演会 ● 10/6(土)「お伊勢参りの今昔～近代から織田豊臣の時代へさかのぼる～」
(太田光俊学芸員)



MieMu

みえむ

三重県総合博物館
MieMu: Mie Prefectural Museum, Japan

Stegodon miensis

2018 Annual schedule



オキナエビス類3種 (金丸コレクションより)

第19回企画展

知ってる貝！ 見てみる貝！ 貝のヒミツ

4月14日(土)～6月17日(日)

貝は、食べるだけでなく、日常道具や美しさを活かした装飾品のほか、あそびの道具としても利用されてきました。また、三重県は真珠やアワビ、カキ、ハマグリなど全国有数の生産地でもあり、私たちに豊かな恵みを与えてくれます。今回は、暮らしの中にある貝にスポットをあて、貝の多様性、利用する人々の知恵、背景となる貝のすがたや生態などに関わる展示を行い、思わずだれかに話したくなる貝の世界を紹介します。

【料金】※()内は団体料金
一般：800円(640円) 学生：480円(380円)

基本展示とのセット観覧券
一般セット券：1,040円(830円)
学生セット券：620円(490円)
こども無料(高校生以下)

第20回企画展

おもちゃ大好き！ ～郷土玩具とおもちゃの歴史～

7月7日(土)～9月2日(日)



明治から昭和のおもちゃ 日本玩具博物館蔵

今も昔も子どもたちの身近な存在であるおもちゃ。ブリキやセルロイドからプラスチック素材への転換、電子・コンピュータの導入、戦争の時代を反映したものなど、おもちゃは時代とともに変化してきました。日本玩具博物館の日本屈指の玩具コレクションを中心に、明治から現代までの各時代のおもちゃ、伊勢地域をはじめとする各地の郷土玩具が大集合します。夏休みに子どもも大人も楽しんでいただける展覧会です。

【料金】※()内は団体料金
一般：900円(720円) 学生：540円(430円)

基本展示とのセット観覧券
一般セット券：1,120円(890円)
学生セット券：670円(530円)
こども無料(高校生以下)

第21回企画展

幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎

9月15日(土)～11月11日(日)

三重県松阪市出身で、幕末・維新期の激動の日本を見つめた男、松浦武四郎が生誕200年を迎えます。「北海道の名付け親」とよばれるように6回の北海道踏査を行い、北海道発展の基礎を築きました。北海道との関わりだけでなく、吉田松陰や木戸孝允、大久保利通をはじめとする幕末の志士・文人たちと幅広い交友を持ち、当代随一の情報収集家、古物収集家としての武四郎の知られざる魅力を紹介します。

【料金】※()内は団体料金
一般：800円(640円) 学生：480円(380円)

基本展示とのセット観覧券
一般セット券：1,040円(830円)
学生セット券：620円(490円)
こども無料(高校生以下)



松浦武四郎肖像写真
松浦武四郎記念館蔵

くらしの道具 ～いま・むかし～ 特集 “三重の伝統産業”

12月15日(土)～2019年2月17日(日)



松阪もめんのトートバッグ
写真提供 松阪もめん手織りセンター

くらしの道具の中には、現在では使われない懐かしいものもあります。長く丁寧に使われてきた道具からは、モノを大切に作る心、モノに込められた知恵や工夫が見てとれます。社会科で「昔の道具」を学習する小学生も、理解を深められる展覧会です。

また、今回の特集コーナーでは、三重の伝統産業をとりあげ、くらしの中で育まれてきた技や、生活スタイルの変化に合わせたさまざまな取り組みも紹介します。

【料金】※()内は団体料金
一般：500円(400円) 学生：300円(240円)

基本展示とのセット観覧券
一般セット券：800円(640円)
学生セット券：480円(380円)
子ども無料(高校生以下)

◆三重の実物図鑑 特集展示 ※観覧無料

三重の実物図鑑では主に人文・自然分野の収蔵品を展示しています。人文分野は資料保存のため定期的に展示替えを行います。

明治初期の三重のできごと ～明治維新150年企画～ 5月15日(火)～6月24日(日)

今年は明治維新 150 年を迎えます。1869(明治 2) から 1877(明治 10) 年頃には、廃藩置県が行われ、本格的に近代国家が形成されていきます。三重県内でも三重県の誕生など新しい体制づくりが推し進められる一方、地租改正反対一揆など国家を揺るがす大事件も勃発しました。このような県内で起こった当時の出来事を歴史的公文書などから紹介します。



暴動罹災調

三重の縄文時代 10月23日(火)～12月16日(日)

縄文時代の人々は、森や海の豊かな恵みを活かしたくらしをしていました。三重県には縄文時代の遺跡がおおよそ 1,050 か所あり、発掘調査では、縄文土器や竪穴住居など、大昔のくらしを知る手がかりが見つかっています。三重県埋蔵文化財センター所蔵の考古資料の中から、装飾性の高い縄文土器をはじめ、縄文人の道具や食生活、お墓にまつわる出土品を紹介します。



石器 粥見井尻遺跡出土(松阪市) 三重県埋蔵文化財センター蔵

2019年新春企画 三重のイノシシたち 12月18日(火) ～2019年1月27日(日)

2019年の干支である亥にちなんで、当館の収蔵資料から「イノシシ」に関連した資料を展示します。イノシシ科の動物の剥製標本のほか、「イノシシ」の名がつく植物や、狩りの絵画、関連する書籍など、自然から歴史・文化まで幅広い分野の資料を紹介します。「イノシシ」が、めでたい、親しみ深い動物になるかも？



猪狩図(富士巻狩図)(部分)

◆移動展示 ※観覧無料

※上記期間以外も収蔵品の展示を行っています。



ツキノワグマ

たんけん！はっけん！紀北町

2019年2月23日(土)・24日(日)

場所：紀北町東長島公民館(北牟婁郡紀北町東長島915番地2)

県内各地域で、県民の皆さまに三重の多様な自然と歴史・文化や MieMu の楽しみ方を知っていただくため、毎年移動展示を実施しています。今回は、紀北町で総合調査を行い、その成果を展示するとともに、紀北町とその周辺の自然と歴史を、ワークショップや講座を交えて紹介します。

利用案内 ●開館時間

交流創造エリア 午前9時～午後7時(無料)

展示エリア 平日：午前9時～午後5時

土・日・祝日：午前9時～午後7時(最終入場は、閉場30分前まで)

●休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29～1/3)、その他別途定める日

●観覧料

基本展示 一般510円(400円)、学生300円(240円)、高校生以下無料 ※()内は団体料金

企画展示 展覧会ごとに別途料金を定めます。詳しくは各展覧会のお知らせをご覧ください。

年間パスポート 一般1,640円 学生1,020円

*学校の教育活動として県内の小・中・高・特別支援学校等の団体が観覧する場合、障害者手帳等をお持ちの方および付き添いの方1名の観覧は無料です。

*毎月第3日曜日は家庭の日で、正規観覧料の2割引でご覧いただけます。

交通案内 ●津駅まで

【鉄道】名古屋から近鉄またはJRで約1時間、大阪から近鉄で約1時間30分

津駅(近鉄名古屋線、JR紀勢本線、伊勢鉄道)西口下車

●津駅(西口)から

【バス】三重交通バス 総合文化センター行き約5分(「総合文化センター前」下車すぐ)

夢が丘団地行き約5分(「総合文化センター前」下車すぐ)

【徒歩】約25分

●お車で

【自動車/観光バス】伊勢自動車道「津IC」から約10分/伊勢自動車道「芸濃IC」から約15分

駐車場約1,400台 *総合文化センターと共用。思いやり駐車場あり。



MieMu | みえむ | 三重県総合博物館
MieMu: Mie Prefectural Museum, Japan

三重県津市一身田上津部田3060 〒514-0061

3060 Isshinden-kouzubeta Tsu, Mie 514-0061, Japan

tel 059-228-2283 fax 059-229-8310 mail MieMu@pref.mie.jp

HP <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/>

twitter @mie_pref_museum

facebook <https://www.facebook.com/mie.pref.museum>

齋宮歴史博物館のご案内



齋宮とは、天皇が即位するたびに選ばれ、天皇の代理として伊勢神宮に仕えた皇女・齋王の宮殿と彼女に仕えた官人たちの役所・齋宮寮のことを言います。

齋王制度は、7世紀後半に始まり、

14世紀前半に廃絶するまで、長い歴史を有します。

齋宮歴史博物館は、この齋王と齋宮の豊かな歴史、そしてその魅力を広く紹介する施設です。

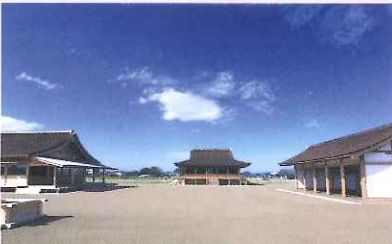
常設展示 —— 齋宮の歴史にふれる ——

常設展示では、文献や文学からさぐる齋王・齋宮の世界、そして齋宮跡の発掘調査が解き明かす齋宮のすがたを紹介しています。



映像展示室では、2本の映像作品で、ありし日の齋宮に近づきます。

史跡探訪 —— 齋宮跡を体感する ——



国史跡齋宮跡は、東西2km南北0.7kmにおよぶ広大な遺跡です。齋宮の全貌を解明すべく、史跡内で計画的に随時発掘調査を行っています。現地見学・体験イベント参加ご希望の方は、当館ホームページをご覧ください。調査研究課までお申し込みください。



さいくう平安の杜
発掘調査の成果をもとに、実物大で復元した齋宮寮の建物です。幻の宮とされてきた齋宮がここによりみがえりました。

ご利用案内

- 開館時間 9:30~17:00
ただし、入館は16:30まで
- 休館日 月曜日（祝日の場合を除く）
祝日の翌日（土曜日・日曜日を除く）
12月29日~1月3日
※裏面のカレンダーをご参照ください。

観覧料	個人		団体 ※団体は20名以上
	一般	学生	
一般	340円	260円	
大学生	220円	180円	
高校生以下	無料	無料	

※次の方々は、「齋宮歴史博物館観覧料免除要綱」により、観覧料の免除を受けることができます。

- 三重県内の小・中・高等学校および特別支援学校の引率者（但し、教育課程に基づく教育活動として事前の申請が必要です。）
- 心身に障害をお持ちの方とその介助者（1名）
- 三重県内の児童福祉施設に在籍している児童およびその引率者

※家庭の日（毎月第3日曜）は、個人でも団体料金が適用されます。※特別展等は、上記観覧料とは別に観覧料が定められます。

- 交通案内 近鉄齋宮駅より徒歩15分
伊勢自動車道 玉城ICより車で約20分
松阪・伊勢市街より車で約30分
駐車場 無料（乗用車200台駐車可）

お知らせ

Twitter始めました！

齋宮歴史博物館公式アプリ多言語音声ガイド「齋宮案内」が登場
右のQRコードよりご利用下さい。



大	京	名
阪	都	古
近鉄特急	近鉄特急	近鉄特急JR
松	阪	
約10分	近鉄	
齋宮		
約15分	近鉄	
伊勢市		外宮
約1分	近鉄	
宇治山田		内宮



齋宮歴史博物館

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503
TEL 0596-52-3800 (代) FAX 0596-52-3724
E-mail saiku@pref.mie.jp
URL <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/saiku/>

齋宮歴史博物館

Saikū Historical Museum

平成30年度年間行事案内
2018.4.1 - 2019.3.31



4月

14日(土) 県民の日記念
無料観覧日

休館日 2・9・16・23

5月

1日(火) 臨時開館日
26日(土) 歴史講座①

休館日 7・14・21・28

6月

2日(土) 斎王まつり(前夜祭)
3日(日) 斎王まつり
16日(土) 西脇殿歴史フォーラム①

休館日 4・11・18・25

7月

13日(金) イブニング講座①
28日(土) 古典文学講座①

休館日 2・9・17・23・30

8月

10日(金) イブニング講座②
18日(土) 西脇殿歴史フォーラム②
25日(土) 古典文学講座②

休館日 6・13・20・27

9月

14日(金) イブニング講座③
22日(土) 古典文学講座③
23日(日) いつきのみや観月会

休館日 3・10・18・25

春季企画展 4月21日～6月3日

春季企画展 4/21(土)～6/3(日)

有料



王朝人が愛でた動物たち ～あなたはイヌ派?ネコ派?それとも?～

日本人がペットを飼うようになったのはいつごろからなのですか?

王朝貴族たちが好んだ愛玩対象としての動物について、記録や絵画資料から紹介します。

春日権現霊験記(京都市立芸術大学芸術資料館蔵)

夏季企画展 7/14(土)～9/2(日)

無料



斎宮のまわりにも魅力がいっぱい —斎宮で自由研究②—

斎宮がまだなかった頃、あった頃、なくなった後の頃、斎宮のまわりの文化財から、斎宮をとりまく地域の魅力を学びましょう。

明和町町制60周年関連企画です。

人面土板 縄文時代(西出遺跡出土 三重県埋蔵文化財センター蔵)

夏季企画展 7月14日～9月2日

第15回松阪・紀勢界隈まちかど博物館企画展 1/26(土)～2/11(月・祝)

無料

平成30年度「館蔵品展」 2/23(土)～3/24(日)

無料

逸品展(全6回)

斎宮歴史博物館が所蔵する貴重な資料1点1点がつまみストーリーを紹介いたします。場所:エントランスホール

無料

子ども1日体験発掘教室

史跡内の発掘現場で、発掘調査を体験することができます。

※開始日、募集内容は、博物館ホームページ等でお知らせします。

無料

特別展 10/6(土)～11/11(日)

有料

イクメン!?!-平安貴族の子育てパパ宣言!!-

平安時代の貴族社会では、子育ては母親やその両親の役割でした。しかし、子育てに進んで参加する父親もいました。そんなイクメン貴族たちを紹介します。



源氏物語須磨巻絵巻(当館蔵)

特別展記念講演会 10/20(土)

「平安貴公子はイクメン」

講師:服藤早苗氏(埼玉学園大学名誉教授)

募集期間:9月10日(月)～9月30日(日)

無料

【毎回募集】歴史講座(全3回)

無料

テーマ 「王朝人が愛でた動物たち」

- 第1回 5月26日(土) 平安京の犬のいる風景
講師:谷口 研語氏(元法政大学講師)
- 第2回 12月15日(土) 猫と人との古いつきあい
講師:田中 貴子氏(甲南大学文学部教授)
- 第3回 2月16日(土) 平安貴族文化と牛
一車を牽いたり走ったり—
講師:京楽 真帆子氏(滋賀県立大学人間学部教授)

—第1～3回 共通事項—
開催時間:13:30～15:30

【通年講座】古典文学講座(全8回)

要参加費

テーマ 人物を通して「平家物語」を知る

- 講師:森田貴之氏(南山大学人文学部日本文学学科准教授)
- 開催日:7/28、8/25、9/22、10/27、12/22、1/26、2/23、3/23(いずれも土曜日)
- 開催時間:13:30～15:00
- 参加費:500円(初回受講のみ納入)
- 募集期間:平成30年5月8日(火)～31日(木)
- (締切日必着)

イブニング講座(全9回)

無料

博物館の職員が研究成果をわかりやすく解説します。

- 開催日:7月～3月までの毎月第2金曜日
- 時間:17:30～18:30
- 場所:斎宮歴史博物館講堂 ※事前申し込み不要
- さいくう西脇殿歴史フォーラム(全5回)
- 斎宮跡や周辺地域の歴史・文化にふれる講座やミニ・シンポジウムを開催します。
- 開催日:6/16、8/18、10/13、1/19、3/16
- 時間:13:30～15:30(3/16は16:30まで)
- 場所:史跡公園「さいくう平安の杜」西脇殿
- ※事前申し込み不要

無料

【参加方法】事前申し込み

往復はがきに、①住所 ②氏名(ふりがな) ③電話番号を明記の上、「斎宮歴史博物館 古典文学講座(歴史講座)係」へお申し込みください。(応募は、はがき1枚につきお一人様とさせていただきます。) 〒515-0325 多気郡明和町竹川503 ※三重県ホームページ内「三重県申請・届出等手続の総合窓口」からも応募できます。
<http://www.shinsei.pref.mie.lg.jp/navi2/index.html>
定員 125名(応募者多数の場合は抽選)※募集期間以外に応募された場合は、無効となりますので、ご注意ください。

特別展 10月6日～11月11日

第15回松阪・紀勢界隈まちかど博物館企画展 1月26日～2月11日

館蔵品展 2月23日～3月24日

10月

12日(金) イブニング講座④
13日(土) 西脇殿歴史フォーラム③
20日(土) 特別展記念講演会
27日(土) 古典文学講座④

休館日 1・9・15・22・29

11月

9日(金) イブニング講座⑤

休館日 5・12・19・26

12月

14日(金) イブニング講座⑥
15日(土) 歴史講座②
22日(土) 古典文学講座⑤
23日(日) 追儺のまつり

休館日 3・10・17・25・29～31

1月

11日(金) イブニング講座⑦
19日(土) 西脇殿歴史フォーラム④
26日(土) 古典文学講座⑥

休館日 1～3・7・15・21・28

2月

8日(金) イブニング講座⑧
16日(土) 歴史講座③
23日(土) 古典文学講座⑦

休館日 4・12・18・25

3月

上旬 いつきのみや梅まつり(予定)
8日(金) イブニング講座⑨
16日(土) 西脇殿歴史フォーラム⑤
23日(土) 古典文学講座⑧

休館日 4・11・18・25

利用のご案内

■開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日：月曜日(祝日休日にあたる場合は開館、翌日閉館)
 [2018年7月17日(火)、9月18日(火)、9月25日(火)、10月9日(火)、
 12月25日(火)、2019年1月15日(火)、2月12日(火)] ※5月1日(火)は開館
 年末年始[2018年12月29日(土) - 2019年1月3日(木)]

■観覧料

□常設展示の場合(美術館のコレクション+柳原義達の芸術/特集展示)
 一般300(240)円/学生(大学・各種専門学校等)200(160)円
 高校生以下無料 ()内は20名以上の団体料金

□企画展示の場合

裏面展覧会予定をご参照ください。

※企画展観覧券で常設展示もご覧いただけます。

※学校の教育活動として県内の小・中・高・特別支援学校等の団体が観覧する
 場合、引率者も含めて無料となります。

※障害者手帳等をお持ちの方が観覧する場合、付き添いの方1名を含めて無料
 となります。

※家庭の日(毎月第3日曜日)の観覧料は、各展覧会(企画展/常設展)の団体割
 引料金となります。

■メールマガジン

三重県立美術館の情報を月2回、みなさんのパソコン、携帯電話へお届けします。
 購読料無料。詳しくは、美術館ホームページをご覧ください。
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/>

■美術館公式twitter

三重県立美術館の最新情報をリアルタイムで配信しています。
 Follow us on Twitter @mie_kenbi



4月

5月

6月

企画展示

ぼくとわたしと みんなの tupera tupera 絵本の世界展
 3/17-6/10

特集展示

常設展示

美術館のコレクション | 4/1-7/1

柳原義達の芸術 | 4/1-7/1

三重県立美術館

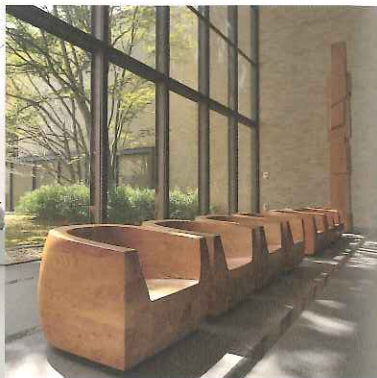
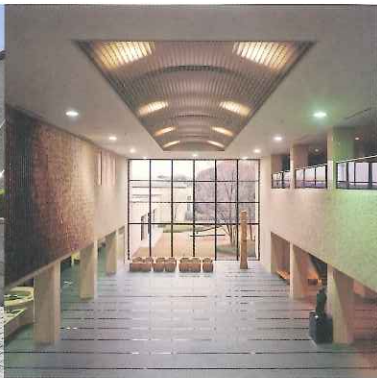
〒514-0007 津市大谷町11
 TEL. 059-227-2100(代表)
 FAX. 059-223-0570

●交通

津駅(近鉄・JR)西口より徒歩約10分または、
 津駅西口1番のりばより三重交通バス「西団地循環」、
 「津西ハイタウン行き(むつみ・つつじ経由)」、
 「夢が丘団地行き(総合文化センター前経由)」、
 「総合文化センター行き」のいずれかに乗車約2分、
 「美術館前」下車徒歩約1分

※できる限り公共交通機関をご利用ください





7月

8月

9月

10月

11月

12月

サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法
6/30-9/2

日本画 * 大研究
9/11-10/14

川端康成と横光利一展
10/27-12/16

土嶋敏男展
9/27-12/2

美術館のコレクション II 7/3-9/24

美術館のコレクション III 9/26-12/24

柳原義達の芸術 II 7/3-9/24

柳原義達の芸術 III 9/27-12/2



1月

2月

3月

Para-Landscape “風景”をめぐる想像力の現在
1/4-3/24

柳原義達—ブロンズ彫刻と原型
12/11-3/24

美術館のコレクション IV 12/26-3/24

三重県立美術館
展覧会のご案内
2018年度

MIE PREFECTURAL ART MUSEUM Exhibitions Schedule 2018-2019



「いろいろバス」(2013年©tupera tupera/大日本図書)



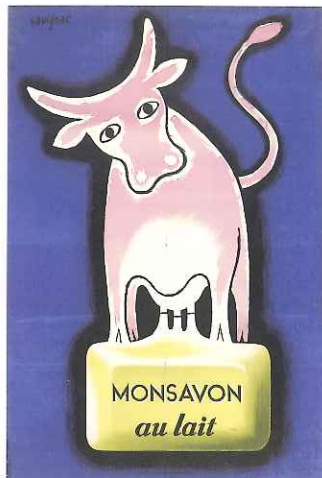
「木がずらり」(2004年私家版/2005年PIEBOOKS/2011年プロンズ新社 © tupera tupera)

ぼくとわたしとみんなの
tupera tupera 絵本の世界展

2018年3月17日|土| - 6月10日|日|

一般900(700)円/学生700(500)円/高校生以下無料

ツペラ ツペラ
「tupera tupera」は亀山達矢(三重県伊勢市出身)と中川敦子(京都府京都市出身)による2002年に結成したユニットです。彼らの活動は絵本やイラストレーションなどの世界にとどまらず、アニメーションや映像作品、さらには大人も子どもも楽しめるワークショップなど多岐にわたります。結成16年目を迎えた彼らのはじめての大規模巡回展となる本展では、代表作の絵本原画はもちろん、布雑貨や木製作品なども紹介します。



レイモン・サヴィニャック 左：《牛乳石鹸モンサヴォン》/右：《ウット毛糸》
共に1949年頃 パリ市フォルネー図書館所蔵 ©Annie Charpentier 2018



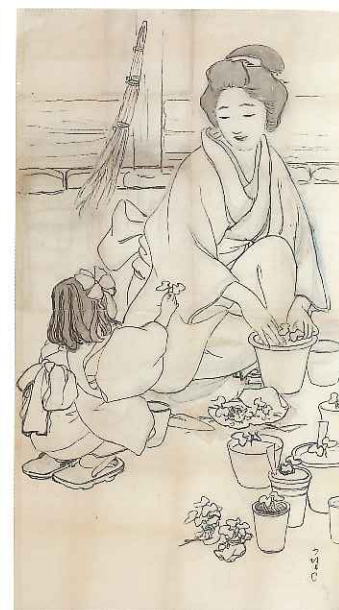
木村伊兵衛《ポスターのあるパリ風景》1954年 木村・田沼コレクション 写真:木村伊兵衛

サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法

2018年6月30日|土| - 9月2日|日|

一般1,000(800)円/学生800(600)円/高校生以下無料

人気のポスター作家レイモン・サヴィニャック(1907-2002)のかつてない大規模展。パリ市とフォルネー図書館の協力の下、フランスの戦後ポスター史を彩る名作の数々を、「動物」、「子ども」、「自動車」、「パリ」といったモチーフごとに紹介。原画や当時の写真などもあわせて展示し、「どのようにメッセージを届けるか」を視覚的に追求した独自の表現の秘密にせまります。陽気で心躍るサヴィニャックの作品は、大人から子どもまで多くの人にポスターの魔法をかけるでしょう。



伊藤小坡 左：《ふたば》1918年/右：《ふたば》(大下絵) 1918年



曾我蕭白《牧牛図》(旧永島家襖絵) 1764年頃

日本画 * 大研究

2018年9月11日|火| - 10月14日|日|

一般600(500)円/学生500(400)円/高校生以下無料

日本画はどう見ればもっと楽しめるでしょうか。日本画と一口にいても、掛軸、屏風、襖絵などいろいろな形があります。また、着色画、水墨画など材料もさまざまです。本展では、やさしい解説や図解、制作の裏側がわかる下絵などを多用しながら、日本画の秘密を探ります。当館所蔵の江戸期から現代までの絵画に、滋賀県立近代美術館の作品を加え、初心者から美術ファンまで幅広い層に向けて、日本画の見方、楽しみ方を紹介します。



横光利一『時計』1934年 創元社 装幀：佐野繁次郎



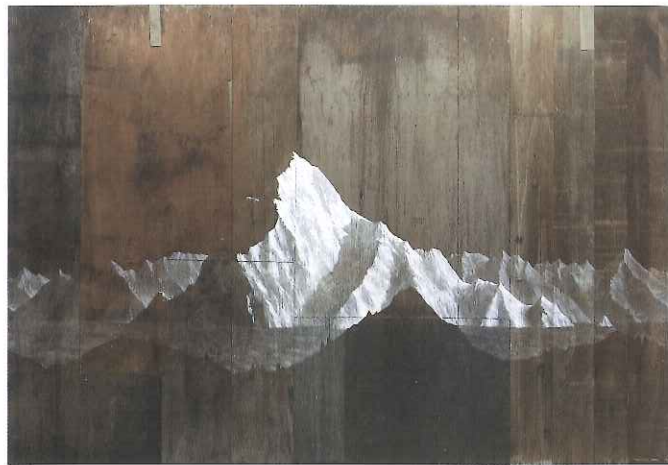
池大雅《十便図》(釣便) 1771年 公益財団法人川端康成記念会所蔵

川端康成と横光利一展

2018年10月27日|土| - 12月16日|日|

一般1,000(800)円/学生800(600)円/高校生以下無料

大正から昭和前半にかけて活躍し、「文学の神様」と仰がれた三重ゆかりの文豪、横光利一(1898-1947)と、その生涯を通じて最大の親友であった近代日本を代表する作家、川端康成(1899-1972)。横光の生誕120年を記念し、ともに新しい文学表現をめざした若きモダニズム時代から日本的な精神や美へと向かう成熟の時代まで、2人の業績や交流、その美意識を、書簡や書籍、関連する美術作品によって紹介します。川端康成記念会の全面的な協力を得て、川端旧蔵の国宝を含む数々の美術作品を一堂に公開。



藤原康博《あいだの山》2014年 ©Yasuhiro Fujiwara courtesy of Mori Yu Gallery



徳重道朗《H123》2016年

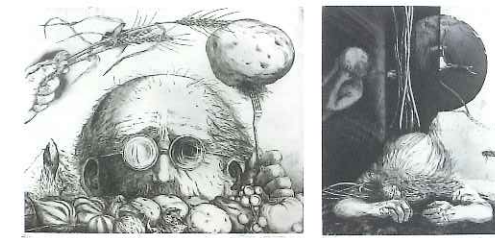
Para-Landscape "風景"をめぐる想像力の現在

2019年1月4日|金| - 3月24日|日|

一般800(600)円/学生600(400)円/高校生以下無料

印象派たちによって描かれ、近代に隆盛をきわめた「風景画」。近年、アーティストたちは再び「風景」に着目し、かつてとは異なる方法で目に映る世界との関係を結んでいます。何気なく「風景」と名付け得る表現のなかにも、神話や夢、見立てなど、さまざまな想像力のはたらきが見出せるでしょう。本展では、現代美術のこの新たな動向を、三重、東海地域の作家を中心に、絵画、立体、映像、インスタレーションなどで紹介します。

特集展示



土嶋敏男 左：《人と物(食物考)》1984年/右：《人と物(予兆)》1984年

土嶋敏男展

2018年9月27日|木| - 12月2日|日|

会場：柳原義達記念館 B室

三重県松阪に生まれ、長年にわたる制作とともに教育者としても活躍した土嶋敏男(1942-)の作品を、個性的なエッチング版画を中心に展示します。



柳原義達

左：《高瀬さんの首》1948年 ブロンズ

右：《高瀬さんの首》1948年 石膏原型

柳原義達—ブロンズ彫刻と原型

2018年12月11日|火| - 2019年3月24日|日|

会場：柳原義達記念館 A+B室

所蔵する柳原作品の原型の修復が、遺族の援助により完了したのでを記念し、ブロンズ作品と原型を並べて展示。普段見ることのできない彫刻の制作過程や創作の秘密を紹介します。

常設展示

美術館のコレクション

- I 2018年4月1日|日| - 7月1日|日|
- II 2018年7月3日|火| - 9月24日|月・祝|
- III 2018年9月26日|水| - 12月24日|月・祝|
- IV 2018年12月26日|水| - 2019年3月24日|日|

※3月26日(火)以降も常設展示室は開室します。

柳原義達の芸術

- I 2018年4月1日|日| - 7月1日|日|
- II 2018年7月3日|火| - 9月24日|月・祝|
- III 2018年9月27日|木| - 12月2日|日|